

---

# 名古屋港の港湾機能の強化に関する要請書



平成23年8月

名古屋商工会議所  
名古屋港振興協会  
名古屋港利用促進協議会  
名古屋海運協会  
名古屋港運協会  
東海倉庫協会

## 名古屋港の港湾機能の強化に関する要請

日頃は、名古屋港の発展のために、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

名古屋港は、コンテナ貨物、バルク貨物、完成自動車を扱う総合港湾として、平成22年の総取扱貨物量が1億8,570万トンと9年連続で、また、貿易額は1兆2,700億円と2年ぶりにわが国港湾において第1位の座を占め、当地域の海の玄関として着実な成長と発展を続けております。

一方、経済活動のグローバル化が益々進展するなか、わが国産業の活力を維持・発展させるためには、アジアをはじめ世界の成長を取り込むことが肝要であり、国際貿易の窓口となる港湾の競争力強化は、喫緊の課題となっております。

こうした中、わが国においては、選択と集中により国際競争力の強化を図るため、国際戦略港湾の選定が行われ、名古屋港は「穀物」で国際バルク戦略港湾に選定されました。

名古屋港は、国際バルク戦略港湾としてはもちろんのこと、当地域経済のみならず、日本経済を牽引するモノづくり産業を物流面で支える国際産業ハブ港として、今後さらに国際競争力を備えた利用しやすい港となるよう整備していくことが大変重要であり、港湾機能の強化・拡充が必要不可欠であります。

つきましては、平成24年度の予算編成に当たりまして、下記事項につき、格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

## 記

1. 国際産業ハブ港を目指す名古屋港において、コンテナ機能、バルク機能の強化を図るために必要な支援を行うこと

### <コンテナ機能の強化>

#### ◆鍋田ふ頭コンテナターミナルの機能強化

○平成23年度供用予定の鍋田ふ頭第3バースへのアクセス道路の整備促進を図ること。また、航路泊地（-12m）整備推進を図ること。

#### ◆飛島ふ頭南側コンテナターミナルの機能強化

○飛島ふ頭南側コンテナターミナルへの大型コンテナ船の入港に対応するため東航路の増深を図ること。また、埠頭内の効率的な物流動線を確保するため道路改良の整備促進を図ること。

### <バルク機能の強化>

○国際バルク戦略港湾として、穀物関連産業の競争力強化を図るため新食糧コンビナート形成の実現に向けた支援を図ること

2. 高潮防波堤の機能強化を図ること
3. 防災施設の機能強化を促進する事業制度の拡充を図ること
4. 鴨浦地区・大手ふ頭南地区における防潮壁の液状化対策の促進を図ること
5. 稲永ふ頭及び弥富ふ頭において廃棄物埋立護岸の整備促進を図ること
6. 中川運河緑地の整備促進を図ること
7. 福利厚生施設整備への補助制度を創設すること

平成23年8月

名古屋商工会議所  
会頭 高橋治朗

名古屋港振興協会  
会長 高橋治朗

名古屋港利用促進協議会  
会長 高橋治朗

名古屋海運協会  
会長 小澤敏也

名古屋港運協会  
会長 伊藤正

東海倉庫協会  
会長 木全英一

# 名古屋港要請箇所

